

国際交流

諸外国の大学、研究機関等と連携・協力し、国際セミナー等を実施して、諸外国の特別支援教育の取り組みについて情報を収集・分析を行うとともに、我が国の特別支援教育の取り組みや研究成果を発信します。また、政府関係機関等との連携によりアジア諸国を中心に国際的な貢献を果たします。

■国際的な情報発信センター – 諸外国の研究機関との連携・協力、交流の推進 –

●国際比較

- ・諸外国の障害のある子どもの教育に関する制度等について、調査研究や当該国の障害のある子どもの教育の実際に詳しい現地在住者に依頼する「外国調査研究協力員制度」等を活用して、情報の収集・分析をし、国際比較を行っています。また、得られた成果は国内外に向けて発信しています。
- ・諸外国の情報収集等のために、国際学会等に研究員を派遣しています。

●アジア・太平洋特別支援教育国際セミナーの開催

本研究所は、アジア・太平洋諸国における特別支援教育の発展に資するため、各国ユネスコ国内委員会から推薦された代表者を日本に招聘し、国際セミナーを毎年開催しています。

平成22年度は、12月6日(月)～9日(木)の日程で開催します。

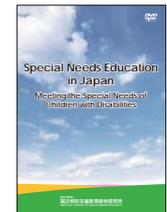
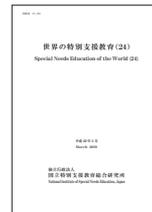
本セミナーでは、先導的立場にある研究者、教員、行政官等が一堂に会して、アジア・太平洋地域の障害のある子どもの教育に関する研究、教育実践、行政施策などを発表し協議を行います。



左記セミナーの様子

●アジア・太平洋地域の特別支援教育に資する、本研究所の研究成果等の発信

- ◆NISE Newsletter(英文)
- ◆Journal of Special Education in the Asia Pacific(JSEAP, 英文)
- ◆世界の特別支援教育
- ◆英文紀要(NISE Bulletin)
- ◆Final Report of the Asia-Pacific International Seminar on Education for Individuals with Special Needs(英・日文)
- ◆Special Needs Education in Japan -Meeting the Special Needs of Children with Disabilities-(DVD:英語版)



■国際貢献 – 特別支援教育の発展・充実に向けた国際貢献 –

●政府関係国際機関等への協力

政府の国際協力の一環として、アジア諸国を中心に、諸外国における特別支援教育の発展を支援しています。

●交流協定に基づくセミナーの開催及び外国人研究者との研究交流

外国の研究機関と交流協定を締結し、研究集会等の実施、特別支援教育情報の交換、研究者の交流、また、研究交流のための特別支援教育セミナーを行っています。

◆交流協定締結機関

1. 韓国国立特殊教育院 (1995年11月締結)
 - ・平成12年度から毎年1回、日韓相互で「日韓特別支援教育セミナー」を開催
 - ・平成22年度 第11回日韓特別支援教育セミナー
2. ケルン大学人間科学学部 (ドイツ) (1998年11月締結)

■招聘・派遣 – 研究職員の派遣及び外国人研究者等の受入による研究交流 –

国際学会等への参加及び発表のために研究員を海外に派遣すると共に、外国人研究者を受け入れ、研究交流を行っています。

◆研究職員の外国への派遣数

年度・人数	2006	2007	2008	2009
本研究所専門研究	8	16	11	6
科学研究費補助金による研究	18	4	9	6
交流協定に基づく派遣	2	3	0	0
政府機関からの要請に基づく国際会議等出席	2	5	2	1
その他	3	9	5	9
合計	33	37	27	22

◆外国人研究者等の受入数

年度・人数	2006	2007	2008	2009
交流協定に基づく招聘	3	1	3	0
アジア・太平洋特別支援教育国際セミナーへの招聘・参加	13	16	11	14
研究交流・研修の受入	33	41	10	13
視察等の受入	79	62	19	64
合計	128	120	43	91